

分野別講座「乳幼児教育」

参加人数 十四名
まとめ 小川慶子

○いかに乳幼児期が大切か

～就学後学力向上につながる力～

雨越 康子

子どもが健やかに育つためには、母との間に愛着を育み心のよりどころをもつこと。概日リズムで生活し、よい睡眠をとること。神経や脳の発達は、誕生後まもなくから始まり、3歳までに80パーセントが完成する。良質の刺激を与え続けることが大切。頭の良さを決める前頭前野をよく働かせるためにワーキングメモリー能力を高める。読み聞かせや、教に親しみ暗算機能を高めることも重要。

○健全な胎児期のために

熊谷 敏子

現在の環境では、胎児期の環境は悪化。化学物質がナノ粒子として皮膚から入ってくるのが影響か。健全な胎児期のために、思春期から男女共に食事を大切に、化学物質への理解を深め、摂取を減らすこと。ストレスを貯めない生活をすることが大事。

まとめ 小川慶子

○乳幼児期の食事 岡 美恵

食の基本はバランスよく食べる。朝食をしっかりとる習慣をつくること。朝食は和食がおススメ。ブレインフーズをとり、国産の安全なものを選び、第二の脳といわれる腸の環境を整える。手間を惜しまず、笑顔で食卓を囲むことがよい親子関係を築く。

○おりがみで脳トレ 小川真起子

昔からある折り紙遊びは、①手指が起用になる②やる気を高める③記号を理解するなど、脳を鍛えて感性を育む要素がたくさんふくまれているので、親子で幼稚園・保育園で取り組んでほしい。

○算数力を磨く 小川 慶子

暗算を幼少期に始めたほうが数の処理をする「頭頂葉」が大きくなりやすい。日常生活の中で、算数力の土台をつくるのによい活動は、①数に関する手遊び②カウントダウン③カレンダーや時計を見る④ものを配る⑤お経式暗算法⑥硬貨を使って物を買う⑦トランプやゲームで遊ぶなどがある。

分野別講座「力が入らない楽な持ち方を

参加人数 十八名
まとめ 熊谷 敏子

マスターすることが学力形成の近道」

提案 前田 昌彦

●箸・鉛筆はスプーンから!!

①スプーンを正しく持つコツ
親、人、中指でつまむように軽く持ち、90度傾かせ中指爪にあてると、箸の持ち方につながる!

●箸の持ち方のコツ

①両手を合わせて右側から4分の1のところを持つ②下箸を親指のつけ根ではさみ、左手で左端もち右手のひらを箸に近づける③薬指と小指は折り曲げ、下箸は薬指の爪の生え際にのせ、少し薬指を箸にむけて押せば下箸は固定する④上箸は左手で先を下箸にそろえて人差し指の第2関節にあてる⑤人差し指を曲げて上箸の上のせるとき親指は軽くもつ⑥次に、下箸を中指でぎゅっと押し上げ固定する⑦中指は上箸の下の部分に爪の生え際で支える⑧親指に力をかけずに、中指を使い上箸を上げて広げる⑨人差し指を使って押し下げる時力を入れすぎなければ、カチカチと鳴るので練習をするこ

●鉛筆の持ち方のコツ

①スプーン→箸で指が軽く動かせれば鉛筆も上手に使える

②鉛筆を親指と人差し指の付け根にはさみ指まっすぐに③手の平を上にもむけ、人差し指と中指の間を通るように置く④鉛筆側面を人差し指第2関節にあて指はけずり際を持つ⑤豆状骨を手の支点にし、少し手首を立てると5本の指全てを使って文字が書ける⑥数字も筆記体がきれいに書ける

●姿勢は大事!座骨ですわる!

①両足は床にピタ②机とおなか握りこぶしグー③背もたれせずグー④両手でチョキ機の天板はさみ背筋のばす⑤両手でパ―鼻先から机まで2つ⑥両脇締め三角形、右手を直角に立て右胸前で書く!声出しながら確認!

●定着のためには

コツ覚えユビックスも良い。親指は軽く、薬指と小指を浮かせない事が重要!!